



2学期は「友だちと関わって学ぶ」

2学期は、1年の中で最も授業日数が多い学期です。落ち着いて充実した学習や活動ができます。2学期は、友だちとの関わりを大切にして学習や行事に取り組んでほしいと思います。友だちの意見を聞いて学びを深めていったり、友だちと共によりよいものを作り上げていったりできるよう、お子さんのがんばりを応援してあげてください。教員は、夏休み期間を活用し、研修会を開いて勉強したり教材を準備したりしてきました。それらをいかして毎日の教育活動を進めていきます。2学期も本校教育へのご理解、ご協力をよろしく願います。

8月24日（水）の授業日には、ひさしぶりに会えた友だちと楽しそうにしゃべったり、家でがんばって作成した作品をうれしそうに見せたりするいきいきとした様子が見られました。しかし、ひさしぶりに歩いて登校してつかれたのか、いつものような元気がないようにも感じました。学校が始まり、生活リズムが変わります。バランスのよい食事と睡眠をしっかりとり、体力を取り戻していけるようご家庭のご支援をお願いいたします。



【夏休みの作品より】



体調不良の時には

新型コロナウイルス感染症の第7波が収束せぬうちに2学期の開始となってしまいました。学校での感染を防ぐよう、換気や手指消毒、黙食等に留意していきます。

学校での感染拡大の防止対策として、登校前に体調不良がある場合には、無理して登校をせず、自宅で療養してください。

また、登校後、学校で体調不良を訴えた場合には、早退して自宅で療養していただきます。学校よりお迎え依頼の連絡が入った場合には、速やかに迎えに来ていただきますようよろしくお願いいたします。

様々なご事情もあるかと思いますが、教育活動を継続していくためにご協力ください。

せいもんまえ おうだんほどう いしき 正門前の横断歩道を意識する

せいわしやうがっこう だいぶがふん じどうが、せいもんまえ どうろをおうだんしてとうげこうをしています。そのどうろは一日中ある程度の車の往来があります。朝は、集団登校で高学年の班長さんが班の子どもたちを統率して歩いてきてくれるのでまだよいのですが、下校時は、子どもたちは個々で帰り、気持ちも緩みがちになり、非常に危ない渡り方をしていることがあります。正門付近は、道路に向けて下り坂になっており、その勢いに任せて走って校門を飛び出し、止まることなく道路を横断してしまいます。幸い1学期は大きな事故にはなりませんでしたが、それは車の方が気をつけて走行してくれていたおかげであり、いつか大事故になりかねないと不安を感じます。

事故を防ぐためには、①走行する車に十分に注意してもらうこと、②児童が一旦停止をして安全を確認して渡ること、の両面の対策が必要であると考えます。

走行する車への対策として、6月に「子どもに注意」のシートを正門前の街燈の支柱に貼りました。また、正門前の横断歩道が薄くなって消えかけていたため、自治会の協力を得て警察に要望していたところ、夏休み中に濃く描き直してもらうことができました。



2学期には、子どもたちにもこの横断歩道を改めて意識させていきたいと思えます。正門を出て、横断歩道の手前で一旦止まって、車が来ないこと又は車が停止してくれたことを確認してから渡るように指導していきます。ご家庭でも、道路の渡り方について時々話題に挙げていただけるとより効果的だと思えます。悲しい事故が絶対に起こることがないようにしなければなりません。

じよそうさぎやう 除草作業 ありがとうございます。

8月20日(土)のPTA奉仕作業及び個別作業では、校庭の除草をしていただきありがとうございました。清和小学校は校庭が大変広く、子どもたちは休み時間や体育の時間にのびのびと走り回ることができ、とても教育環境のよい学校です。しかし、その分、管理が大変なので、このようにPTAのみなさんやボランティアのみなさんに助けていただけることが本当にありがたいです。

企画・運営していただきましたPTA役員のみなさまにも、感謝申し上げます。